



：ローマ数字で100を表す

◆巻頭言

防災

山上東平

先日わが町内会で、防災訓練を実施いたしました。

なんと訓練に参加した参加率は98%でした。

東日本大震災が発生して、皆さんの防災意識が高くなったとはいえ、この参加意識の高さにびっくりしました。

2年ほど前から自主防災組織をどのように作り、どのように運営していくかと推進委員会を設置して検討し、他所の地域の状況を参考にしながら自分の自治会に合った組織を作ったの、初めての実地訓練でした。

災害の起きたとき、この地域から1人の犠牲者を出さないためには、自助、共助が必須です。公助には期待しないをもっとうに訓練プログラムを立案しての訓練でした、阪神淡路地震の時も自助共助が機能した地域が犠牲者を最小限に食い止めていたとのこと。

災害はいつどこにやってくるかはわかりません。わが自治会の訓練もまだ始まったばかりですが、訓練を積み重ね、災害発生時即活動できるようにして行きたいと思っています。

◇27年9月の活動予定

① 9月 6日(日)8時半～12時 ・集合場所 光が丘自治会館

※臨時作業、集合場所と時間が違います。注意して下さい！！

◇作業目的:民地の保全作業(活動費捻出作業)

・作業内容:1)自治会館の植栽の剪定と刈りゴミの清掃。

2)並木の剪定と清掃。

・持ち物 常備具(カマ・手ノコ)、刈り込みバサミ、剪定バサミ、飲料水
防虫剤、他必需品

② 9月13日(日)9時半～14時 ・集合場所 池の下広場

◇作業目的:管理型スギ林を目指した保全作業

・作業内容:尾根道作業エリア A4-2 のスギ林保全作業。

1)27日開催横浜レンジャーズ向け間伐体験木の選定。

2)弱小木・罹患木・枯木の除伐。

3)主木(スギ)の密度調整の為の間伐。

4)林床の整理(アオキ、シロダモ、ネザサの除伐)

・持ち物 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、防虫剤、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、スコップ、カケヤ、オオガマ、チェーンソー
ロープ、チルホール等

③ 9月27日(日)9時半～14時 ・集合場所 池の下広場

※同作業はボランティアへの誘い、横浜レンジャーズの体験講座の開催。

◇作業目的:管理型スギ林を目指した保全作業

・作業内容:尾根道作業エリア A4-2 のスギ林保全作業。

1) 弱小木・罹患木・枯木の除伐。

2) 主木(スギ)の密度調整の為の間伐。

3) 林床の整理(アオキ、シロダモ、ネザサの除伐)

・持ち物 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、防虫剤、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、スコップ、カケヤ、オオガマ、チェーンソー
ロープ、チルホール、講座参加者用(ヘルメット、カマ、手ノコ)

(27年10月号の原稿に関し、上記活動報告は石渡氏巻頭言は小嶋紀之氏!レポートは浅見聡氏
です。原稿の締め切りは27年9月25日(金)、枝村氏迄宜しくお願いします。)

欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄。

【瀬上さとやまもりの会 活動日誌】

「瀬上さとやまもりの会 活動日誌」

(1) 平成27年7月12日(日) 晴 9:30~12:45

『谷戸のボランティア塾講習会』

作業場所: A2 いっしんどう広場付近

作業内容: 「やまゆりの育つ茅場」を目指した草刈り作業

参加者: ボラ塾生 7名 (中塚事務局長引率)

当部会:浅見・石渡・伊藤・枝村・小宅・佐谷・高嶋・野沢・

星野・前村・丸山・三島・村田・柳下・山上・渡邊(忠)・

渡邊(富) 17名

9:30 集合。班割(ボラ塾生2名に当部会1名が付添)。作業内容説明。

9:50 準備体操の後、A2 へ移動。

10:20 草刈作業開始

A2-1: ボラ塾生と当部会員4名。

A2-2: 当部会(草刈機2台使用)

11:30 作業終了。ボラ塾生は解散。

昼食後、連絡事項伝達。

A チェーンソー講習会: 8月18、19日(火・水)希望者は申出を。費用は会負担。

B.瀬上未来作り検討会(小宅さん)

問題点(かいぼり関連等)を把握すべく、なるべく参加を。(次回は8/15。

南部公園事務所にて)

C.7/26 光が丘会館の作業は取り止め。いっしんどう広場 A1-1の作業を行う。

D.会の剰余金の分配(各部会への配分)

樹林地部会に約20万円が分配される(7月末予定)

E.名札のデザイン決定

各人に配布する。名札用ケース30枚購入する。

F.活動域の植物調査 引続き、長谷川さんをお願いする。

G.トイレ外壁の設置

渡部副会長の作業に応援を。

12:45 終了、解散。(猛暑のため無理せず)



樹林地部会の参加者



作業中風景



作業終了時

(2)平成27年7月26日(日) 晴 9:30~12:45

「定例活動」

作業場所: いっしんどう作業エリア A1-1

作業内容: 景観保全型落葉樹林を指向した下草刈り。

参加者: 浅見・伊藤・枝村・小宅・佐谷・上手・高嶋・野澤・丸山・三島・
山上・渡邊(忠)・渡邊(富)・渡部 計 14名

9:30 集合。新名札配布。準備体操の後、作業エリアに移動。

10:00 作業開始。無風、猛暑のため、休憩をこまめに。スズメバチの巣がありそうなので注意。(渡邊忠さん、指を刺される)

11:40 猛暑の中、用心のため作業終了。

昼食後、連絡事項。

A.8/8 救急講習、納涼会参加者中間報告。講習:当部会21名、他部会5名。

納涼会:当部会18名、他部会2名。

自然体験教室: 10月予定。上郷小の参加者あるかも。

B.光が丘自治会館保全作業: 9月6日(日)予定。

C.チェーンソー講習: 満員のため参加できず。

D.チェーンソー目立て道具購入: 検討・選定作業をする。

12:45 終了、解散。



参加者



作業中近景



作業後 近景

(3)平成27年8月8日(土)

晴

A. 救急法講習会 13:00~16:00

場所: 栄消防署 大会議室

講習内容: AED 操作を主体とする救命救急講習。当部会、丸山氏及び署員1名を講師とし、全員が AED 操作を修得する。新規受講者は6名。

参加者: 23名

当部会:浅見・石渡・伊藤・枝村・小宅・佐谷・上手・高嶋・野沢・
星野・前村・丸山・三島・村田・柳下・山上・吉川・渡邊
(忠)・渡邊(富)・渡部 (20名)

事務局及びボラ塾:中塚・古川・磐田 (3名)

B. 納涼会 17:00～19:00

場所: よろい寿司本店(本郷台)

参加者: 24名

当部会:浅見・石渡・伊藤・枝村・小宅・小嶋・佐谷・上手・竹内・
行木・野沢・星野・前村・三島・柳下・山上・吉川・渡邊
(忠)・渡邊(富)・渡部 (20名)

事務局及びボラ塾生:中塚・古川・磐田 (3名)

ゲスト: 瀬上市民の森愛護会 高橋会長

ゲストとして高橋会長来席、ご挨拶いただく。



救急救命講習会

納涼会

◆ リレートーク

ねぶたの夜

小嶋泰家

8月6日、妻と私は青森のねぶた祭に初めて参加した。私の勤めた企業グループが毎年一基出展しているの、関係会社の旅行社から誘いがあり、横浜から参加した。

当日9時半過ぎの新幹線で東京から新青森へ。昼食は駅弁。旨い。在来線へ乗り換え青森駅へ。青森駅は雪の中、ではなく、酷暑の中だった。大型クルーズ船も接岸して乗客は観光中。すぐ近くの広場には昨年上位入賞のねぶたと当日参加のため待機中のねぶた 22 基。

いったんグループの控室に行き、跳人の正装に着替える。正装は（ご存知の方もおられようが）7つの衣類からなり、一人で着るのはムリ。専門の着付け師が約 15 分かけて着付けをしてくれた。いよいよ指定された道路に集合。午後7時の花火を合図にねぶたが動き始めた。小生も跳人として参加。ねぶたの前で独特の踊りと「ラッセラー」の掛け声を上げながら数キロの市街を回る。

ねぶたの構造は高さ 5 m、長さ 7 m、幅 9 m。費用一基約 20 百万円。発電機を搭載して、きらびやかに人力で進行する。ねぶたに積んだいくつもの大太鼓が体全体と夜

空に響く。30分も踊るとその激しい踊りに小生はついて行けず、グループの機敷に戻る。9時の花火とともに行進終了。この高齢で、と言う恥ずかしさも少しあったが、着飾った跳人のひとりとして、ひと夏の貴重な経験をする事が出来た。その上に日本人の元気ももらった。

もう少し若ければ跳人を今一度経験してもいいかなとも思うが、いや、その元気は瀬上さとやまもりのこれからの作業のために蓄えておこうと思う。 以上



◆ 編集後記

《2015年 夏の思い出》

100年、1000年後の次世代へ緑豊かな森づくりの継承を目指す、私たち瀬上さとやまもりの会の保全活動にとっても今年の夏は厳しい暑さでした。

ここ瀬上の森で、ひっそりと佇む《まつかぜ草》の花に出会える日を楽しみに次月の活動に参加したいと思っています。(小宅)